

2011年8月期 上期業績 及び通期見通し

堂前 宣夫

株式会社ファーストリテイリング
グループ上席執行役員

1

堂前です。

私の方から2011年8月期上期業績、及び
通期の業績見通しについてご説明します。

I. 上期決算概要	P3	～	P14
II. 2011年8月期通期業績予想	P15	～	P19
III. ご参考資料	P20	～	P24

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

(2011年8月期以降)

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロ(靴事業含む)の数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、ジーユー事業、キャビン事業が含まれています。

(2010年8月期まで)

国内ユニクロ事業：日本で展開するユニクロ事業の数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：ジーユー事業、靴事業、キャビン事業が含まれています。

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】2011年8月期 上期実績

売上高 : 4,573億円 (前年同期比 ▲ 2.9%)
営業利益 : 820億円 (前年同期比 ▲ 17.8%)

単位: 億円

	2010年8月期 上期実績	2011年8月期 上期			
		直近予想 (1/13時点)	実績	前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	4,709 100.0%	4,630 100.0%	4,573 100.0%	▲2.9%	▲1.2%
売上総利益 (売上比)	2,463 52.3%	2,365 51.1%	2,384 52.1%	▲3.2% (▲0.2p)	+0.8% (+1.1p)
販管費 (売上比)	1,464 31.1%	1,650 35.6%	1,563 34.2%	+6.8% (+3.1p)	▲5.2% (▲1.4p)
営業利益 (売上比)	998 21.2%	715 15.4%	820 17.9%	▲17.8% (▲3.3p)	+14.8% (+2.5p)
経常利益 (売上比)	965 20.5%	690 14.9%	776 17.0%	▲19.5% (▲3.5p)	+12.5% (+2.1p)
当期純利益 (売上比)	553 11.8%	300 6.5%	416 9.1%	▲24.7% (▲2.6p)	+38.9% (+2.6p)

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

3

2011年8月期 上期の連結業績についてご説明します。

売上高は4,573億円、前年同期比2.9%減、
 営業利益は820億円、同17.8%減、
 経常利益は776億円、同19.5%減
 当期純利益は416億円、同24.7%減の、
 減収減益の結果となりました。

次のスライドで要因をご説明します。

【連結】上期 減収減益の要因

売上高 4,573億円（前年同期比 ▲2.9%）
 ・国内ユニクロ事業 ▲247億円 ・海外ユニクロ事業 +97億円
 ・グローバルブランド事業 +7億円

売上高総利益率 52.1%（前年同期比 ▲0.2p）
 ・会計処理変更の影響、実質ベースは▲2.2p低下
 ・国内ユニクロ事業では実質ベースで▲3.4p低下

売上高販管費比率 34.2%（前年同期比 +3.1p）
 ・会計処理変更の影響、実質ベースは+0.9p上昇
 ・国内ユニクロ事業では実質ベースで+1.1p上昇

営業利益 820億円、営業利益率17.9%（前年同期比 ▲3.3p）

経常利益 776億円、経常利益率17.0%（前年同期比 ▲3.5p）
 ・円高に伴う為替差損38億円

当期純利益 416億円、直近予想から116億円上ぶれ
 ・経常利益が直近予想より上ぶれたこと、キャビンがリンク・セオリー・ジャパンと合併した税効果、および税率の低い海外子会社の利益寄与が高まったため

まず売上高ですが、4,573億円、前年同期比136億円の減収でした。減収の要因は、国内ユニクロ事業が247億円の減収になったことによります。一方、海外ユニクロ事業が97億円の増収、グローバルブランド事業が7億円の増収となっております。

売上高総利益率は前年同期比0.2ポイント低下いたしました。ただし、会計処理変更の影響があったことから実質ベースでは、同2.2ポイントの低下となっております。売上高総利益率が実質ベースで2.2ポイント低下した主な要因は、国内ユニクロ事業において、実質ベースの粗利益率が同3.4ポイント低下したことによります。

販管費は前年同期比で99億円増えており、販管費比率は前年同期比3.1ポイント上昇いたしました。ただし、会計処理変更の影響があったことから、実質ベースでは同0.9ポイントの上昇となっております。国内ユニクロ事業では、経費削減を進めたことで、販管費比率は実質ベースで同1.1ポイントの上昇にとどまっております。

これらの結果、営業利益は820億円、営業利益率は17.9%と同3.3ポイント低下いたしました。また、経常利益につきましては776億円、経常利益率は17.0%と、同3.5ポイント低下いたしました。

営業外損失として、円高に伴う為替差損が38億円発生しております。これは株式会社ユニクロが海外ユニクロ事業向けに行っている立替金に関わるものが主なものです。

また、当期純利益は416億円となっております。直近の予想を116億円上回った要因としては、経常利益が直近予想から86億円上ぶれたこと、キャビンがリンク・セオリー・ジャパンと合併したことによる税効果、および税率が低い海外子会社の利益寄与が高まったことによります。

上期 グループ事業別実績

単位：億円

		2010年8月期	2011年8月期	
		上期実績	上期実績	前年同期比
国内ユニクロ事業	売上高	3,669	3,421	▲6.8%
	営業損益	924	703	▲23.9%
	(売上比)	25.2%	20.6%	▲4.6p
海外ユニクロ事業	売上高	405	502	+24.0%
	営業損益	58	78	+33.9%
	(売上比)	14.6%	15.7%	+1.1p
グローバルブランド事業	売上高	630	637	+1.2%
	営業損益	46	51	+10.3%
	(売上比)	7.4%	8.1%	+0.7p

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示しております。

※ 各グループ事業の構成

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロ(靴事業含む)

海外ユニクロ事業：海外で展開しているユニクロ事業

グローバルブランド事業：セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、
ジーユー事業、キャビン事業

こちらのスライドでは、各グループ事業別の売上高、営業利益を示しております。

上期は減収減益

単位：億円

	2010年8月期 上期実績	2011年8月期 上期			
		直近予想 (1/13時点)	実績		
				前年同期比	直近予想比
売上高 (売上比)	3,669 100.0%	3,440 100.0%	3,421 100.0%	▲6.8%	▲0.5%
売上総利益 (売上比)	1,847 50.4%	1,685 48.9%	1,695 49.5%	▲8.3% (▲0.9p)	+0.6% (+0.6p)
販管費 (売上比)	923 25.2%	1,025 29.7%	991 29.0%	+7.3% (+3.8p)	▲3.3% (▲0.7p)
営業利益 (売上比)	924 25.2%	660 19.2%	703 20.6%	▲23.9% (▲4.6p)	+6.6% (+1.4p)

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

6

まず国内ユニクロ事業ですが、上期の売上高は3,421億円、前年同期比6.8%減、営業利益は703億円、同23.9%減と、減収減益の結果となりました。

1月13日に発表いたしました直近予想に比べて、売上高は約20億円下回りましたが、粗利益率が上がったこと、販管費を30億円強削減することができたことにより、営業利益は40億円強上回ることができました。

なお、販管費を削減できたのは、11月最終週から販売が不調となったことから、12月、1月の臨時従業員数をコントロールしたためです。

項目ごとにつきましては、次のスライドでご説明いたします。

【国内ユニクロ事業】売上高の状況

上期 売上高 3,421億円 (前年同期比 ▲6.8%)

○ ユニクロ直営店 2011年2月末 804店(FC店20店舗を除く)
前年同期末比 33店舗増

○ 既存店売上高 前年比 ▲9.9% (客数 ▲5.0%、客単価 ▲5.2%)

12月：気温が高く推移したことによる販売不振。一方で、人気のコア商品の欠品による機会ロスが発生

1月：ヒートテックの販売が好調。気温の低下により冬物全般の売上が回復

2月：チノ&カーゴ、サラファイン、シルキードライなどの春物キャンペーン商品の立ち上がりは好調も、下旬に気温低下で減収

前年比増減率	2011年8月期							
	1Q	12月	1月	2月	2Q	上期	3月	
既存店計	売上高	▲12.3%	▲15.5%	+10.7%	▲5.0%	▲6.8%	▲9.9%	▲10.5%
	客数	▲6.6%	▲10.0%	+9.5%	▲4.5%	▲3.2%	▲5.0%	▲13.0%
	客単価	▲6.0%	▲6.1%	+1.2%	▲0.5%	▲2.2%	▲5.2%	+3.0%

※ FC店20店舗を除く

7

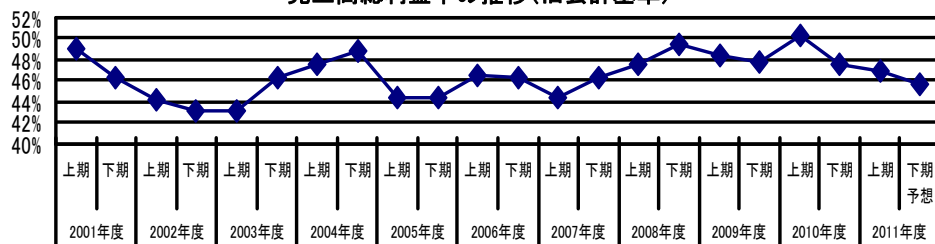
国内ユニクロ事業の2月末の店舗数は前年同期末比33店舗増加いたしました。既存店売上高が9.9%減となったことにより、全体の売上高は6.8%の減収となりました。

12月は気温が高く推移したこと、人気のコア商品の欠品により大幅な減収となりましたが、1月は気温の低下とともに冬物販売が回復、ヒートテックの販売が好調に推移したことで、増収に転じました。2月から開始したチノ&カーゴ、サラファイン、シルキードライなどの春物のキャンペーン商品の立ち上がりは順調となっています。

上期 売上高総利益率 49.5%（前年同期比 ▲0.9p）
 （会計処理変更の影響を除いた実質ベースでは▲3.4p低下）

- 秋物商品の処分値引きの増加
- ヒートテックの期間限定販売が増加した影響
- スポットで調達した為替メリットの減少

売上高総利益率の推移(旧会計基準)



※ 原価算入していた商品倉庫～店舗間の運送費及び倉庫料を2011年8月期より販管費算入へ変更

次に売上高総利益率ですが、会計処理の影響を除いた実質ベースでは3.4ポイント低下いたしました。

売上高総利益率が前年同期比で低下した要因としては、まず秋物の処分値引が増加したことがあげられます。

また、ヒートテックを増産したことにより、昨年は欠品のため計画通りに実施できなかった期間限定販売を計画通り実施することができました。期間限定販売が前年に比べて増えていることも粗利益率低下の一因としてあげられます。

なお、第2四半期3ヶ月間の売上高総利益率は前年同期比で大きく低下しましたが、これは、前年はスポットで調達した為替による円高メリットが、約30億円あったためです。

【国内ユニクロ事業】販管費

上期 売上高販管費比率 29.0% (前年同期比 +3.8p)
(会計処理変更の影響を除いた実質ベースでは+1.1p上昇)

- ・対売上高比率は上昇：前年の高効率の反動
- ・期初計画に比べて、84億円の経費を削減

	10年8月期 上期		11年8月期 上期				11年8月期 上期	
	実績 旧基準	(売上比)	実績 旧基準	(売上比)	増減	(売上比)	実績 新基準	(売上比)
販管費合計	923	25.2%	899	26.3%	▲24	+1.1p	991	29.0%
人件費	311	8.5%	298	8.7%	▲13	+0.2p	298	8.7%
広告宣伝費	154	4.2%	146	4.3%	▲7	+0.1p	146	4.3%
賃借料	209	5.7%	213	6.2%	+4	+0.5p	213	6.2%
減価償却費	18	0.5%	25	0.7%	+6	+0.2p	29	0.9%
その他	229	6.2%	215	6.3%	▲13	+0.1p	302	8.9%

※ 原価算入していた商品倉庫～店舗間の運送費及び倉庫料を2011年8月期より販管費算入へ変更 9

売上高に対する販管費比率は、会計処理変更の影響を除いた実質ベースでは同1.1ポイントの上昇となっております。

前年は上期の既存店売上高が13.1%増と極めて高い水準だったことから、経費効率が大幅に改善したのに対し、今年の上期は既存店売上高が9.9%減収となったことから、経費比率は、人件費比率、賃借料率などの項目で上昇いたしました。

しかし、期初から経費削減をすすめた結果、期初計画に比べて84億円の経費を削減することが出来ました。特に年末年始商戦では、広告費、人件費、物流費を適正な水準にコントロールすることで、経費削減効果が十分にでております。

アジアの業績拡大、ニューヨークの好調続く

- ・ 中国・香港: 既存店売上高の二桁増収、業績拡大続く
- ・ 韓国: TVCM効果によるブランド認知度アップ、既存店売上高二桁増
- ・ 台湾: 1号店の売上高は計画を大幅に上回る
- ・ シンガポール・マレーシア: 計画通りの順調な業績
- ・ 米国: ニューヨークグローバル旗艦店の好調続く、利益拡大
- ・ フランス: 計画通りの順調な業績
- ・ 英国、ロシア: 若干計画を下回る業績

単位: 億円

		2010年8月期		2011年8月期	
		上期実績	上期実績	前年同期比	
海外ユニクロ事業	売上高	405	502	+24.0%	
	営業損益	58	78	+33.9%	
	(売上比)	14.6%	15.7%	+1.1p	

次に海外ユニクロ事業ですが、売上高は502億円と前年同期比で24.0%増、営業利益は78億円と同33.9%増の大幅な増収増益を達成いたしました。なお、売上高はほぼ計画通り、営業利益は計画を約15億円上回る水準となっております。

まず、中国・香港では、上期に6店舗増え、既存店売上高も二桁増収となり、大幅な増収増益となりました。

韓国では、上期に6店舗増えたこと、テレビCMによる広告宣伝活動を開始したことで、ブランド認知度が飛躍的に上がり、既存店売上高も二桁増収、大幅な増収増益となりました。

2010年10月に1号店をオープンした台湾の売上高は、計画を大幅に上回ることができました。

シンガポールも順調に売上を伸ばしたことに加え、2010年11月にマレーシアに1号店を出店し、計画通り順調な業績となっております。

米国では、ニューヨーク、ソーホーのグローバル旗艦店の二桁増収が続いております。この秋に出店予定のニューヨーク5番街グローバル旗艦店と、ニューヨーク34丁目店のオープン前家賃負担を除いたベースでは利益は拡大いたしました。

フランスでは、計画通りの増収増益を達成しております。英国とロシアは、若干計画を下回る業績となっております。

セオリー事業の好調な業績続く

- ・セオリー事業：日米で営業利益は計画比で上ぶれ
- ・コントワー・デ・コトニエ事業：若干の計画未達
- ・プリンセス タム・タム事業：ほぼ計画通りの業績
- ・ジューユ事業：旗艦店オープンのコスト負担などにより減益

単位：億円

		2010年8月期		2011年8月期	
		上期実績		上期実績	前年同期比
グローバルブランド事業	売上高	630		637	+1.2%
	営業損益	46		51	+10.3%
	(売上比)	7.4%		8.1%	+0.7p

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

11

グローバルブランド事業の上期の売上高は637億円と前年同期比1.2%の増収、営業利益は51億円、10.3%の増益と、計画を達成いたしました。

セオリー事業は日米ともに好調な売上と増益トレンドが続いております。利益は計画比で上ぶれ、前年比でも大幅な増益となっております。

コントワー・デ・コトニエ事業の上期の既存店売上高は若干の減収となっており、営業利益は若干の計画未達、前年比でも減益となっております。

プリンセス タム・タム事業は卸売事業の縮小により減収となっておりますが、利益はほぼ計画通り、減益となっております。

ジューユ事業は、順調に事業を拡大しておりますが、旗艦店オープンのコスト負担などにより上期は減益となっております。

単位：億円

	2010年2月末	2010年8月末	2011年2月末	前年同期比
総資産	5,634	5,072	5,503	▲130
流動資産	3,998	3,456	3,884	▲113
固定資産	1,635	1,616	1,618	▲17
負債	2,563	2,193	2,270	▲292
純資産	3,070	2,879	3,232	+161

12

2011年2月末の連結バランスシートのご説明をさせていただきます。

2010年2月末との比較では、
流動資産が113億円減少し、固定資産が17億円減少した結果、
全体の総資産は130億円減少して5,503億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

現金・預金及び有価証券の減少 ▲254億円（2,769億円 ⇒ 2,514億円）

【国内ユニクロ事業】 前年2月末日が休日、買掛金が増加した影響（325億円）を除いた実質ベースの増加は71億円

たな卸資産の増加 +43億円（705億円 ⇒ 749億円）

【国内ユニクロ事業】 ▲11億円（501億円 ⇒ 490億円）

会計基準の変更の影響 ▲23億円

春物在庫を適正にコントロール

【海外ユニクロ事業・グローバルブランド事業】

+55億円 新規出店増、および売上拡大による在庫増

固定資産の減少 ▲17億円（1,635億円 ⇒ 1,618億円）

無形固定資産の減少 ▲53億円

まず、流動資産ですが、現金・預金及び有価証券の合計額は2,514億円と、前年同期末比で254億円減少いたしました。前年の2月末日が休日だったことで買掛金が増加した325億円の影響を除くと、実質ベースでは71億円増加しております。

たな卸資産は749億円と、前年同期末比43億円増加しております。

まず、国内ユニクロ事業の2月末日の在庫ですが、490億円と前年同期末比11億円減少しております。新店33店舗が増えたことによる在庫増はありましたが、会計基準変更の影響で23億円、および、春物の在庫量を適正にコントロールしたことにより、在庫は減少しております。

海外ユニクロ事業やグローバルブランド事業では、新規出店が増えたこと、売上拡大により在庫が増加いたしました。

固定資産は1,618億円と、前年同期末比で17億円減少しております。のれんの償却が進んだことなどで無形固定資産が53億円減少したことが主な要因です。

【連結】上期 キャッシュ・フロー

	2010年8月期 上期累計	2011年8月期 上期累計	増減	増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	+1,333	+785	▲547	
税金等調整前当期純利益	+955	+667	▲287	国内ユニクロ事業の利益減少
買掛金の増減額	+493	+163	▲329	2010年2月末日が休日だった影響
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲94	▲123	▲28	
無形固定資産の取得による支出	▲13	▲59	▲45	システム投資(G1)の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲147	▲151	▲3	
現金及び現金同等物の増加額	1,069	509	▲560	
現金及び現金同等物の期首残高	1,695	2,004	+308	
現金及び現金同等物の期末残高	2,765	2,514	▲251	

上期のキャッシュ・フローについてご説明させていただきます。

営業活動による収入は、前年上期の1,333億円から、785億円の収入へと、547億円減少いたしました。

収入の減少の要因としては、国内ユニクロ事業の利益減少が287億円、買掛金増減の差が329億円です。これは、2010年2月末日が休日だったことにより、前期の上期末では買掛金が325億円増えていたことによりです。

投資活動による支出は、昨年の94億円から、123億円の支出へと、28億円増加しております。

支出が増加した要因は、システム投資が45億円増えたことによりです。

また、財務活動による支出は、昨年の147億円から、151億円と、3億円増加しております。

この結果、2011年2月末における現金及び現金同等物の残高は、期首に比べて509億円増加いたしました。

業績予想を修正

単位：億円

	2010年8月期 通期実績	2011年8月期 直近予想		2011年8月期 修正予想		
		(1/13時点)	前期比	(4/7時点)	前期比	期初予想比
売上高 (売上比)	8,148 100.0%	8,460 100.0%	+3.8%	8,360 100.0%	+2.6%	▲1.2%
売上総利益 (売上比)	4,208 51.7%	4,330 51.2%	+2.9% ▲0.5p	4,325 51.7%	+2.8% +0.0p	▲0.1% +0.5p
販管費 (売上比)	2,885 35.4%	3,195 37.8%	+10.7% +2.4p	3,110 37.2%	+7.8% +1.8p	▲2.7% ▲0.6p
営業利益 (売上比)	1,323 16.2%	1,135 13.4%	▲14.3% ▲2.8p	1,215 14.5%	▲8.2% ▲1.7p	+7.0% +1.1p
経常利益 (売上比)	1,237 15.2%	1,085 12.8%	▲12.3% ▲2.4p	1,165 13.9%	▲5.9% ▲1.3p	+7.4% +1.1p
特別損益	▲68	▲110	+59.7%	▲120	+74.2%	+9.1%
当期純利益 (売上比)	616 7.6%	510 6.0%	▲17.3% ▲1.6p	600 7.2%	▲2.6% ▲0.4p	+17.6% +1.2p

15

ここからは、2011年8月期の業績予想についてご説明します。

通期の連結売上高は、1月13日に発表した8,460億円から8,360億円へ、100億円減額修正いたします。

売上高総利益率は直近予想の51.2%から51.7%へと修正いたします。
 販管費は直近予想の3,195億円から3,110億円へ、85億円減額修正いたします。
 この結果、営業利益については直近予想の1,135億円から1,215億円へ、80億円増額修正いたします。

また、特別損益は東日本大震災による影響額約10億円を下期に計上することを見込んでおります。このため通期では、上期で計上した109億円の特別損失をあわせて、特別損益120億円を予想しております。

当期純利益は直近予想の510億円から600億円へ、90億円増額修正いたします。

下期の業績予想修正のポイント(1月13日直近予想からの修正)

- ・ 売上高 約80億円減額修正(既存店売上高 +3.0%は変更なし)
震災により閉店している店舗の影響 約30億円、出店数の減少 約20億円
新店・既存新店の売上予想見直し 約15億円、靴事業の見直し 約15億円
- ・ 売上高総利益率 +0.7p
- ・ 販管費は約10億円強削減の見込み

	2010年8月期	2011年8月期下期		2011年8月期下期		
	下期実績	直近予想 (1/13時点)	前期比	修正予想 (4/7時点)	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	2,482 100.0%	2,740 100.0%	+10.4%	2,658 100.0%	+7.1%	▲3.0%
売上総利益 (売上比)	1,178 47.5%	1,320 48.2%	+12.0% (+0.7p)	1,299 48.9%	+10.3% (+1.4p)	▲1.5% (+0.7p)
販管費 (売上比)	825 33.3%	925 33.8%	+12.0% (+0.5p)	913 34.4%	+10.7% (+1.1p)	▲1.2% (+0.6p)
営業利益 (売上比)	352 14.2%	395 14.4%	+12.0% (+0.2p)	386 14.5%	+9.5% (+0.3p)	▲2.2% (+0.1p)

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

16

国内ユニクロ事業の下期業績修正についてご説明します。

まず下期の売上高ですが、1月13日に発表した直近予想から約80億円減額修正しております。

内訳としては、震災の影響で閉店している店舗による影響が約30億円、出店が直近予想から減少となった影響が約20億円、新店及び既存新店の売上予算を見直した影響が約15億円、靴の専門店事業の見直しによる影響が約15億円となっております。

なお、既存店売上高については直近予想の前年比プラス3.0%と変更しておりません。

3月の既存店売上高がマイナス10.5%と、震災の影響により大きく前年割れとなっておりますが、徐々に売上も回復していることから、4月以降は既存店売上高が増収となると予想しております。

下期の粗利益率については、上期の粗利益率のトレンドをかんがみて、直近予想から0.7ポイント修正しております。

販管費は、直近予想より10億円強削減できる見込です。

この結果、下期の営業利益予想は386億円、前年同期比9.5%増益を予想しております。

通期業績予想
売上高: 6,080億円 (前期比▲1.2%)
営業利益: 1,090億円 (前期比▲14.6%)

単位: 億円

	2010年8月期 通期実績	2011年8月期		2011年8月期		
		直近予想 (1/13時点)	前期比	修正予想 (4/7時点)	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	6,151 100.0%	6,180 100.0%	+0.5%	6,080 100.0%	▲1.2%	▲1.6%
売上総利益 (売上比)	3,026 49.2%	3,005 48.6%	▲0.7% (▲0.6p)	2,995 49.3%	▲1.0% (+0.1p)	▲0.3% (+0.7p)
販管費 (売上比)	1,749 28.4%	1,950 31.6%	+11.5% (+3.1p)	1,905 31.3%	+8.9% (+2.9p)	▲2.3% (▲0.3p)
営業利益 (売上比)	1,277 20.8%	1,055 17.1%	▲17.4% (▲3.7p)	1,090 17.9%	▲14.6% (▲2.9p)	+3.3% (+0.8p)

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

17

以上の結果、2011年8月期通期の国内ユニクロ事業の売上高は6,080億円、前年比1.2%減、営業利益は1,090億円、前期比14.6%減を見込んでおります。

国内ユニクロ事業 : 業績予想を修正
 海外ユニクロ事業 : 営業利益を増額修正
 グローバルブランド事業 : 変更なし

単位: 億円

		2010年8月期	2011年8月期		2011年8月期		
		通期実績	直近予想 (1/13時点)	前期比	修正予想 (4/7時点)	前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	6,151	6,180	+0.5%	6,080	▲1.2%	▲1.6%
	営業損益	1,277	1,055	▲17.4%	1,090	▲14.6%	+3.3%
	(売上比)	20.8%	17.1%	▲3.7p	17.9%	▲2.9p	+0.8p
海外ユニクロ事業	売上高	727	1,000	+37.4%	1,000	+37.4%	+0.0%
	営業損益	63	85	+33.5%	100	+57.1%	+17.6%
	(売上比)	8.7%	8.5%	▲0.2p	10.0%	+1.3p	+1.5p
グローバルブランド事業	売上高	1,252	1,250	▲0.2%	1,250	▲0.2%	+0.0%
	営業損益	78	85	+8.3%	85	+8.3%	+0.0%
	(売上比)	6.3%	6.8%	+0.5p	6.8%	+0.5p	+0.0p

※ 2010年8月期実績も新カテゴリーに組替した数値を表示

グループ事業別の売上高、営業利益はご覧のスライドの通りです。

国内ユニクロ事業については、先ほどご説明したとおり業績予想を修正しております。

海外ユニクロ事業については、上期で上ぶれした営業利益15億円を増額修正しております。

グローバルブランド事業については売上高、営業利益ともに予想数値の変更はございません。

2011年8月期 配当予想

2011年8月期 年間配当金予想 180円に修正

	配当金額(1株当り通期)		
	中間	期末	通期
2009年8月期	75円	85円	160円
2010年8月期	115円	115円	230円
2011年8月期(10/8予想)	85円	85円	170円
2011年8月期(修正予想)※	95円	85円	180円
配当金予想の修正額	+10円	0円	+10円

※ 2011年8月期の中間配当については4月7日開催の取締役会にて決議しております。
 なお、業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

19

最後に配当金ですが、本日の取締役会にて2011年8月期の中間配当金を、10月8日に発表した予想に比べて1株当たり10円増額し、95円と決議いたしました。今回の配当金の増額は、上期の当期純利益が直近予想から約100億円上ぶれたことに伴うものです。

また、期末配当は85円と直近の予想から変更しておりません。

この結果、年間の配当金の予想は180円を予想しております。

以上で私からの説明を終わります。

ありがとうございました。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位：店舗】	10年8月	2011年8月期								
		2Q実績(2011/2末)				通期 予想(2011/8末)				
		期末	出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	944	43	13	+30	974	107	33	+74	1,018	
国内ユニクロ事業:	808	26	10	+16	824	56	28	+28	836	
直営店	788	26	10	+16	804	56	28	+28	816	
大型店	102	9	0	+9	111	27	0	+27	129	
標準店等	686	17	10	+7	693	29	28	+1	687	
FC	20	0	0	0	20	0	0	0	20	
海外ユニクロ事業:	136	17	3	+14	150	51	5	+46	182	
中国(除く香港)	54	6	0	+6	60	26	2	+24	78	
香港	13	1	1	+0	13	3	1	+2	15	
台湾	-	1	0	+1	1	1	0	+1	1	
韓国	48	6	0	+6	54	14	0	+14	62	
シンガポール	3	0	0	+0	3	2	0	+2	5	
マレーシア	-	1	0	1	1	1	0	+1	1	
英国	14	1	2	▲1	13	2	2	0	14	
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1	
フランス	2	0	0	+0	2	0	0	0	2	
ロシア	1	1	0	+1	2	2	0	+2	3	
靴事業	90	0	4	▲4	86	0	90	▲90	0	
ジーユー事業	115	15	2	+13	128	40	5	+35	150	
キャビン事業	197	0	197	▲197	0	0	197	▲197	0	
セオリー事業※	326	38	9	+29	355	73	10	+63	389	
コントワー・デ・コトニエ事業※	371	15	3	+12	383	26	7	+19	390	
プリンセス タム・タム事業※	160	1	4	▲3	157	2	6	▲4	156	
総 合 計	2,203	112	232	▲120	2,083	248	348	▲100	2,103	

※FC店を含む

適用為替レート

単位: 円

	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2011年8月期 第2四半期累計(6ヶ月平均)	82.8	111.3	130.1	12.4	7.1
2010年8月期 第2四半期累計(6ヶ月平均)	89.9	129.2	144.4	13.3	7.7
2011年8月期 通期予想レート(10/8時点)	85.0	110.0	130.0	13.0	8.0
2010年8月期 通期実績(12ヶ月平均)	89.8	122.1	140.2	13.2	7.7

設備投資 減価償却費 のれん償却額

単位: 億円

	設備投資	減価償却費	のれん償却額
2011年8月期 第2四半期実績(6ヶ月累計)	162	69	32
2010年8月期 第2四半期実績(6ヶ月累計)	114	56	37
2011年8月期 通期予想(12ヶ月累計)	280	150	65
2010年8月期 通期実績(12ヶ月累計)	280	122	75

グループ事業：各カテゴリーに含まれる事業

2010年8月期まで

2011年8月期以降

	含まれる事業		含まれる事業
国内ユニクロ事業	日本で展開するユニクロ事業	国内ユニクロ事業	日本で展開するユニクロ事業 靴事業★
海外ユニクロ事業	海外で展開するユニクロ事業	海外ユニクロ事業	海外で展開するユニクロ事業
国内関連事業	ジーユー事業	グローバルブランド事業	セオリー事業
	靴事業		コントワー・デ・コトニエ事業
	キャビン事業		プリンセス タム・タム事業
セオリー事業	ジーユー事業★		
グローバルブランド事業	コントワー・デ・コトニエ事業		
	プリンセス タム・タム事業		

※ ㈱キャビンは2010年9月1日よりリンク・セオリー・ジャパンに合併。2011年8月期以降におけるキャビン事業の業績は、グローバルブランド事業に含めております。

※ 靴事業は2010年4月1日より㈱ユニクロに合併

★ カテゴリーを変更した事業

【国内ユニクロ事業】業績予想の前提

	2010年8月期 実績(旧基準)	2011年8月期予想(旧基準※)			2011年8月期予想(新基準)		
		直近予想 (1/13時点)	修正予想 (4/7時点)	前期比	直近予想 (1/13時点)	修正予想 (4/7時点)	前期比
売上高	6,151 億円				6,180 億円	6,080 億円	▲1.2%
既存店前年比(通期) (ユニクロのみ)	+4.7%				▲5.7%	▲5.0%	▲9.7p
上期(実績)	+13.1%				▲11.4%	▲9.9%	▲23.0p
下期	▲6.4%				+3.0%	+3.0%	+9.4p
売上総利益率(通期)	49.2%	45.6%	46.8%	▲2.4p	48.6%	49.3%	+0.1p
上期(実績)	50.4%	46.1%	47.0%	▲3.4p	48.9%	49.5%	▲0.9p
下期	47.5%	45.1%	46.4%	▲1.1p	48.2%	48.9%	+1.4p
販管費比率(通期)	28.4%	28.6%	28.6%	+0.2p	31.6%	31.3%	+2.9p
上期(実績)	25.2%	26.9%	26.3%	+1.1p	29.7%	29.0%	+3.8p
下期	33.3%	30.7%	31.7%	▲1.6p	33.8%	34.4%	+1.1p

※ 新基準:従来、原価算入していた商品倉庫～店舗間の運送費及び倉庫料を2011年8月期より販管費算入へと変更

特別損失 ▲109億円

会計処理の変更に伴う特別損失 合計 96億円

物流費一括償却 ▲26億円

物流費・商品倉庫料の計上基準を統一したことに伴い、2010年8月末時点の在庫に含まれる物流費・商品倉庫料の相当額を一括償却

固定資産の減価償却費一括償却 ▲40億円

固定資産の減価償却費計上基準をグループで統一したことに伴い、過去分を一括償却

資産除去債務過去分一括償却 ▲29億円

資産除却債務会計基準の適用に伴い、過去分を一括償却

その他の特別損失

事業整理損失引当金繰入額 ▲ 8億円

靴販売専門店の閉店に伴うもの